



佐藤 操さん（旭）の作品

# みんなの 作品展



## 文芸作品

### 絵手紙の会



佐藤 教子さん（桜）の作品

#### 川柳（標茶川柳の会）

- 口達者食が盛んでまだ死ねず
- ふる里の秋まるごとの宅急便

加藤 シゲ  
佐藤美代子

#### 俳句（標茶菱の実吟社）

- 今朝の冬ポストに落す喪中束
- T P P 放映ながし外は雪

渡辺 芙美  
横山 樹木

#### 短歌（自生林短歌会）

- 木枯しはオソベツ原野吹きすさび  
日だまり憩ふ群雀なり
- 足裏にあたる心地のなつかしさ  
音もうれしき霜柱かな
- 冬枯れの庭に一輪こぼれ花  
雪下に眠り春を待つらし

木ノ内次郎  
駒井 米子  
高野千鶴子



## 釧路湿原国立公園の 面積拡張について

昭和62年に誕生した釧路湿原国立公園は、昨年の9月30日にその面積が大幅に拡張されました。

これまで釧路湿原国立公園の面積は26861haでしたが、今回の拡張で1927ha増えて28788haになりました。また、国立公園にはその自然状況に応じて特別保護地区・特別地域・普通地域の区分があり、今回約5000haの区分の変更がありました。

今回は、まだ国立公園になっていない湿原、湿原に流入する河川やその周りの林、タンチョウやキタサンショウウオなど湿原特有の野生生物の生息・生育地のほか、湿原にとって非常に重要な役割を果たす湧き水のある箇所や、その湧き水を作り出す湿原周辺の森林が国立公園に新たに指定されました。

国立公園の目的は素晴らしい自然を保護すること、そしてその自然に影響を与えない範囲でうまく利用することです。

釧路湿原国立公園には日本最大の湿原があり、その広大な風景は訪れる人を魅了します。また、タンチョウやキタサンショウウオ、イトウ、ニホンザリガニ、クシロハナシノブなど多くの動植物が生息しています。

釧路湿原国立公園を訪れて、その素晴らしさを実感してください。また、自然豊かな釧路湿原国立公園の保護に引き続きご協力をお願いします。※国立公園内で工作物を設置することや、植物の採取などを行う場合は手続きが必要です。詳しくは左記に問い合わせください。

■問い合わせ／環境省釧路湿原自然保護官事務所  
0154-56-2345

標茶町女性団体連絡協議会機関紙

**女かたらい**

平成23年度 第154号 平成24年1月1日

標茶町女性団体連絡協議会

発行責任者 会長 山口 鈴代 標女広報委員会

## 年頭の「あいさつ」

標女連会長 山口 鈴代

新年明けましておめでとうございます。昨年11月5日に行われた釧路管内男女平等参画フォーラムに大勢の参加をいただき感謝申し上げます。公務が多忙の中、快く講師を引き受けていただいた池田町長から貴重なお話を聞くことができました。「これからのまちづくり」という演題で「『まちづくり』の主体は町民であり、行政は協役である」との話で自分もまちづくりに参加していかなければならないと実感しました。

昨年3月11日に東日本大震災が発生し、東北地方や北海道の一部は甚大な被害を受けました。震災により、いかに当たり前の生活が大事か、そして地域・家族との絆がいかに大切であるか痛感しました。震災を決して忘れずに、東北地方の物産を買い支えていきたいと思っています。

平成24年が大災害もなく平和な一年でありますように願っています。

## 「子どもの夢を育てるまつり」に参加して

旭 村山 恵津子

去年の7月24日、朝7時の打ち上げ花火を合図に曇り空ではありましたが、暑くもなく寒くもないというちょうど良い天候の中で「第22回子どもの夢を育てるまつり」が、駒ヶ丘公園特設会場で行われました。

私も標女連出店のお手伝いをさせていただきました。

去年の7月24日、朝7時の打ち上げ花火を合図に曇り空ではありましたが、暑くもなく寒くもないというちょうど良い天候の中で「第22回子どもの夢を育てるまつり」が、駒ヶ丘公園特設会場で行われました。

私も標女連出店のお手伝いをさせていただきました。



も、当たり前アヒル探しやペットボトルロケット飛ばし、クリップ作り、うちわ作り、乗馬体験、魚すくい、シャボン玉、水遊びと小さい子どもから大きい子どもさんまでたくさんの子どものちがいつぱい楽しんで、食べて、遊ぶことができましたことと思います。

去年の3月11日に発生した東日本大震災、福島第一原発事故など信じられない大きな出来事に加え、記録的豪雨などの暗いニュースに触れるたびに胸が痛み一日も早い復興を願うと共に、おまつりを通して普段の何気無い普通の生活がどれだけ大切で幸福なことかと改めて考えさせられ、感謝の気持ちを一層強く感じました。大勢の子どもたちの笑顔に触れ、たくさんの方の幸せをいただいた一日でした。

## 宿泊研修に参加して

常盤 佐藤 祐子



1日目に標津漁組の方から組合の内容について、色々な角度から説明を頂きました。その中で、標津町地域ハサップの取り組みについてのお話が特に素晴らしいものでしたので内容をかいつまんで記してみます。

ハサップとは、新鮮な魚や貝類を漁獲・水揚・市場・加工場・輸送・消費者まで安全で新鮮なまま届け、より美味しく安心して食べられるようにとの考えから、獲ったらすぐ氷の入った海水の槽に入れ鮮度を十分に保ち、市場では自分たちの健康管理や市場内外の環境衛生管理などをしながら魚介類の鮮度を保ち、加工場でも原料の受け入れから加工・出荷まで徹底管理することです。

このような取り組みを全く知りませんでしたので本当に大変な努力の上で、私たちは「標津のお魚は本当に美味しいよ」と言って食べていたのだと感じました。

加工場の見学では、入るとすぐに清潔な感じを受けました。異臭も無く、ゴミやホコリも見当たらず、ハエなどの昆虫の侵入を防ぐ方法も取られ、ハサップの取り組みが実践されていることが分かりました。

その後の見学は、ポー川史跡、サーモンパーク、野付半島ネイチャーセンター、開陽台と多くあり心配もありましたが、ゆつたりとした時間の流れの中での研修となり、家族的な雰囲気ですごく終えることができました。

## 標茶町 女性のつどい 開催のお知らせ

■日時 / 3月4日(日)、午前9時45分

■場所 / コンベンションホールういず  
※詳細は決まり次第お知らせします。

## 会の動き

10月30日

標茶町町内会・地域会連合会研修会 (参加協力) | 3人

11月5日

男女平等参画フォーラムIn標茶 (釧路管内事業―標茶会場) | 139人

12月10日

社会福祉大会 (参加協力) | 4人